

こんにちは いつもお世話になっております

三栄です

第72号
発行元



株式会社三栄サービス
発行人 紺野 琢生



新年明けまして

おめでとうございます



コロナ二年とも言うべき令和三年が終わり、新年を迎えることが出来ました。今度こそ収束するかと思いきや、感染力の強いオミクロン株の登場により、またどうなるかわからない状況になってまいりました。海外でも各地で感染の再拡大が起きており、再生資源の輸出にも影響が出ています。コンテナが滞留していて取りづらい状況に加えて、燃料高騰で、海上運賃が値上がりしております。またベトナム、マレーシア、韓国(※延期を発表)が今年からMIX古紙の輸入をストップすると表明していたことも、今後影響が出てくるかもしれません。現状は、国内の

古紙の発生が減っており、中でも新聞古紙が年々減っていることから、雑誌を代替で使用するメーカーが増え、国内ではむしろ雑誌が不足する状況になっておりますが、コロナと経済の動向を注視しながら古紙の円滑な回収・リサイクルと製紙原料の安定供給に努めて参りたいと考えております。回収作業においても、燃料や、番線などの資材の高騰、トラックなど車両の納車の遅れ、ドライバー不足と人件費の上昇など、様々な問題に直面しておりますが、引き続き感染症対策を万全に、社員一同創意工夫をして、回収作業の効率化を図りつつ、安全と品質の向上に務めて参りたいと考えておりますので、本年もどうぞ宜しくお願いします。

社内でも、組合で安全講習会を開催しました。

十一月二六日に当社が加盟する東多摩再資源化事業者安全講習会が開催されました。当日は、東村山市民センターでのリアル開催と併せて、YouTubeでのライブ配信を行いました。当社社員もリアルとライブ配信と半々くらいで参加しました。講師には、東久留米自動車教習所から吉本副管理者にお越し頂き、初心に立



ち返って安全運転の基本からご講演頂きました。また、十二月一日には、早朝から社内でもパッカー車の安全講習会を行いました。運行管理者の木村と安全運転管理者の鈴木から、パッカー車の運転及び積載作業時の注意点を実車を交えて説明しました。パッカー車は荷台が高く、車両後方が長いので、物損事故が多くなりがちです。また他社では、手指を巻き込まれ大けがをする事案も報告されています。今回の講習会の成果を活かし、引き続きお客様にとつても安全安心な回収業務に務めて参ります。

アルミ缶リサイクル奨励賞 武蔵村山市 緑が丘第8自治会

当社では、毎年アルミ缶のリサイクルを長年積極的に続けてこられた集団回収団体をアルミ缶リサイクル協会に推薦しております。昨年は、武蔵村山市の緑が丘第8自治会様を推薦し、協会から奨励賞を頂きました。団体様には、協会からの表彰と副賞を直接お届けしました。



先代の紺野武郎会長が十一月に傘寿を迎えました。あまり外に出る機会がなくなりましたが、現在も元気に出社しています。まだまだ長生きして、お目付け役でいて下さいね。

